

平成25年度愛知県生涯学習推進計画事業について

資料1

1 平成25年度愛知県生涯学習推進計画事業数及び予算額

総事業数、総予算額

10部局42課

150事業 1,871,166千円

2 部局別事業数

部局・課		事業数		部局・課		事業数		部局・課		事業数		
総務部法務文書課		1	1	環境部	水地盤環境課	2	12	教育委員会事務局	総務課	3	52	
地域振興部	地域政策課	1	8		自然環境課	3			健康福祉部	子育て支援課		3
	国際課	6		高齢福祉課	3	生涯学習課	34					
	交通対策課	1		障害福祉課	8	高等学校教育課	4					
県民生活部	県民総務課	4	32	産業労働部	健康対策課	6	義務教育課		3	特別支援教育課		1
	県民生活課	1			産業振興課	1	健康学習課		3			
	社会活動推進課	13			産業科学技術課	2	体育スポーツ課		3			
	地域安全課	2		労働福祉課	2	警察本部	子ども女性安全対策課		1	7		
	文化芸術課	11		就業促進課	3		少年課		3			
	学事振興課	1		食育推進課	2		生活安全総務課		1			
防災局	防災危機管理課	3	4	農林水産部	農業経営課	1	サイバー犯罪対策課		1			
	消防保安課	1			林務課	1	交通総務課		1			
環境部	環境政策課	3	環境部		森林保全課	2	10部局42課150事業					
	環境活動推進課	3										
	大気環境課	1										

3 体系別事業数及び予算額

5本の柱	23の具体的な施策	事業数	予算額 (千円)	
① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習	「生きる力」を育む学校教育の充実	9	58,928	
	健康づくり・スポーツ活動の促進	12	182,432	
	芸術・文化の振興	12	636,455	
	高齢期の学びと社会参加活動の促進	4	176,439	
② 家庭と地域の教育力を高める生涯学習	家庭教育の充実と子育て支援	12	55,145	
	地域の教育力の向上	4	264,791	
	青少年の健全育成	9	7,526	
	食育の推進	3	10,540	
③ 持続可能な社会づくりを進める生涯学習	持続発展教育（ESD）の推進	4	88,064	
	環境学習・環境活動の推進	13	90,150	
	安心・安全な県民生活の確立	14	32,253	
	人権意識の啓発	6	6,941	
	男女共同参画社会の形成	11	10,876	
	障害者との共生社会づくり	9	66,464	
	多文化共生社会の推進	7	10,336	
	「モノづくり」の継承と発展	5	37,985	
	④ 職業的自立を高める生涯学習	若者等に対する職業意識・職業観の醸成	2	51,896
		職業能力の向上	3	53,332
リカレント教育の推進		2	7,647	
⑤ 生涯学習推進体制づくり	生涯学習推進体制の充実	2	1,463	
	学習情報の提供と相談体制の充実	1	7,647	
	人材・団体の育成と調査・研究の推進	6	19,082	
	生涯学習関連施設の充実	12	153,665	
合計		150	1,871,166	

※ 合計は1事業で複数の体系に該当する事業もあり、合計とは一致しない。

4 平成25年度の主な事業

<① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習>

- あいちトリエンナーレ事業費 569,535 千円 (国際芸術祭推進室)
県民や芸術関係者、NPO、企業、市町村等と幅広い連携・協働を図りながら、愛知から文化芸術を世界へ発信する国際的な芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」を開催する。
- ◆テーマ 揺れる大地—われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活
 - ◆会期 平成25年8月10日(土)から10月27日(日)
 - ◆会場 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか、岡崎市内のまちなか
- 名古屋市博物館特別展開催費負担金 4,000 千円 (文化財保護室)
本県の代表的な民俗芸能で国指定重要無形民俗文化財の「花祭」や「三河の田楽」等を広く県民に紹介し、山村に伝えられた民俗文化の豊かさや大切さを学ぶ展覧会を名古屋市と連携し、名古屋市博物館で開催する。
- ◆テーマ 「奥三河のくらしと花祭・田楽」(仮称)
 - ◆会期 平成25年11月2日(土)から12月15日(日)

<② 家庭と地域の教育力を高める生涯学習>

- あいちっこ「親の育ち」応援事業費 841 千円 (生涯学習課)
親が家庭の抱える課題に主体的に対応できるように、地域や学校で「親の学び」学習プログラムを活用した講座を開催し、親としての学びを支援する。
- ◆「親の育ち」家庭教育支援者スキルアップ事業
乳幼児期、幼児期、児童期、思春期の発達段階に応じた4つのプログラムからなる「あいちっこ『親の学び』学習プログラム」を活用した講座開設ができるよう子育てネットワークの知識・技能の向上を図る。
・スキルアップ講座の開催 2地区 ・参加人数 70人
 - ◆「親の育ち」家庭教育研修会推進事業
「親の育ち」家庭教育支援者スキルアップ講座を修了した子育てネットワークを地域や学校に派遣し、学びを生かした家庭教育研修会を開催する。
・年間50回 ・参加人数 2,000人以上
 - ◆子育てネットワーク活用啓発事業
子育てネットワークの地域での活動の活性化に向け、子育てネットワークと行政が協働した家庭教育支援策や事業を事例集としてまとめ、市町村の活用促進を図る。
・活動事例集 200部

<③ 持続可能な社会づくりを進める生涯学習>

- 持続発展教育(E S D)に関するユネスコ世界会議開催準備費 61,500 千円 (E S D会議支援室)
持続発展教育(E S D)に関するユネスコ世界会議の会議支援の準備及び関連事業等の実施・準備を進めるため、E S Dユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会が実施する事業に対し、負担金を支出する。
- ◆ユネスコ総会における開催地PR ◆会議支援・関連イベントにかかる詳細な実施計画の策定
 - ◆開催1年前イベントの実施 ◆E S Dイヤーキックオフイベントの開催 等
- ユネスコスクール支援事業費 14,750 千円 (生涯学習課)
2014年に本県で開催される「持続発展教育(E S D)に関するユネスコ世界会議」に向けてE S Dの推進拠点となるユネスコスクールが50校以上となるよう加盟促進に向けた取組を進める。
- ◆ユネスコスクール加盟促進事業
ユネスコスクール加盟校が地域と協働して行うE S D活動に対して支援を行う。
・1校200千円(上限)×70校
 - ◆ユネスコスクール加盟申請支援事業
ユネスコスクールの活動事例集を作成・配付するとともに、加盟申請書のための英訳支援を行う。
・活動事例集 2,300部 ・英訳支援 5校
- ※ ユネスコスクール加盟の推移
2校(23年9月世界会議誘致時) ⇒ 41校+申請中18校(25年7月24日現在)

<④ 職業的自立を高める生涯学習>

- 第23回全国産業教育フェア愛知大会開催費負担金 12,000 千円 (高等学校教育課)
専門学科等で学ぶ全国の高校生等が集い、発表、作品展示、ロボット競技大会、各種コンクール等により、学習成果を発信する「第23回全国産業教育フェア愛知大会」を開催する。
- ◆日程 平成25年11月9日(土)・10(日)
 - ◆会場 ウィンクあいち、愛知県体育館、刈谷市産業振興センター、刈谷市総合文化センター(刈谷会場は、11月10日(日)のみ開催)
 - ◆内容 ・展示・実演・体験コーナー(中学生・高校生作品展示、ファッションショー、ろくろ体験等)
・展示即売(生徒作品・生産物、生徒開発商品、特産品等)
・発表(作品・研究、意見・体験)
・各種競技大会(フラワーアレンジメントコンテスト、ロボット競技大会、クッキングコンテスト、介護技術コンテスト 等)

<⑤ 生涯学習推進体制づくり>

○生涯学習情報システム「学びネットあいち」の運営

6,377 千円 (生涯学習課)

県や市町村を始めとした生涯学習関係機関・団体が有する学習講座等の情報をインターネットを通じて広く県民に提供する。

- ◆学習案内情報
講座講習会、イベント、施設、人材、資格等の情報提供
- ◆学習コンテンツ
大学公開講座等の講演録、無形民俗文化財の動画等を提供
- ◆コミュニケーションコーナー
電子掲示板による学習者の相互交流及び学習相談の実施
- ★トップページのアクセス 113,624 件 (24 年度実績)
- ★学習情報件数 11,732 件 (平成 25 年 6 月末時点)
- ★学校・公民館などネットワーク機関数 1,660 (平成 25 年 6 月末時点)

○生涯学習指導者研修事業費、生涯学習ボランティアコーディネーター養成事業費等

352 千円 (生涯学習課)

市町村の生涯学習担当職員の職務遂行に必要な知識・技能の修得やボランティアのニーズを受け止め、ボランティアにつなげるコーディネーターを養成する研修を実施する。

- ◆生涯学習担当者研修会
・参加人数 60 人 1 日
- ◆生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座の開催
・参加人数 30 人 3 日

○公民館を核とした社会教育活性化支援事業費 10,000 千円 (生涯学習課)

社会教育行政の中核施設である公民館を核として、地域において課題を抱える若者の支援、地域振興、地域防災等に係る先進的な取組を行政の関係部局の垣根を越え、連携・協働して実施することで、地域の絆、地域コミュニティの再生及び地域の活性化を図る。

- ◆連絡協議会の開催：4 回
- ◆ESD をテーマとした実践的な事業の実施：3 市町村
 - ・大府市 「自然とともに、みんなで学ぶ」
自然と関わり合う活動を通して、地球環境や生物多様性について考え、ESD の普及啓発につなげる。
 - ・豊田市 「豊田市交流館を核とした ESD の普及啓発事業」
交流館において、様々な年齢層・主体に対して学ぶ場を提供することによって、市民が自発的に地域社会において ESD 活動を展開するよう促していく。
 - ・弥富市 「油～固ブラ～(あぶら～かたぶら～)「捨てる」から「活かす」へ～」
家庭用食用酒の再利用や資源の節約にスポットを当て、環境・資源・エネルギーの側面から ESD の普及・啓発を図る。
- ◆フォーラムの開催(成果の発表)：1 回